

## 平成25年度 第1回 行政改革推進委員会てん末

### 1. 日 時

平成25年7月25日(木) 午後1時30分から午後4時15分

### 2. 会 場

上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

### 3. 出席者

委 員：石渡会長、北村職務代理者、小関・出口・町元各委員  
(欠席：朝日、後藤、小林、篠田、馬場)

町 長：高山・山田・水野・山本各課長、星補佐、大口係長、大西主任

### 4. 配布資料

- (1) 第1回行政改革推進委員会議案
- (2) 湧別町行政改革実施計画の推進状況
- (3) 行政改革推進委員会の附帯意見に対する町の考え方
- (4) 行政改革推進本部事務局会議ほか会議顛末書

### 5. 会議顛末

- (1) 開会(高山課長)

- (2) 会長あいさつ(石渡会長)

大変忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。年に1回の会議ということで久しぶりの感じがしますが、事務局より事前に資料は頂いており、皆さん目を通してきていることと思いますので、説明を聞く時間よりも協議の時間を長くとれればと思っております。それでは、きょうはよろしくお願い致します。

- (3) 協議事項

- 1. 行政改革実施計画書の点検評価について

資料に基づき、大口係長説明

#### 【主な意見】

地域づくり懇談会は、30自治会のうち4自治会で実施していませんが、不便はないのか気になります。

私の自治会も参加者が年々少なくなっています。将来的に行わなくなるということが心配です。

町政懇談会の方向性だと思います。苦情処理や地域の要望を聞く内容だから必要ないということになるのであって、地域が来なくてもよいと言っても役場は

足を運び説明すべきと思います。

地域づくり懇談会に対する自治会ごとの考え方が違うように感じます。私の自治会では、全戸に自治会のあり方や不便に思っていることなどの意見を募り、それを役員会の中で整理し、役場に提出しています。そして、役場と参加者の意見交換会を実施しています。意見交換の場は必要であると考えます。

苦情処理で終わらせてはいけません。それだけなら地域スタッフ制度で間に合うと思います。自治基本条例が制定すれば、なおさら町は地域に出向いて説明責任を果たすべきと思います。

旧湧別町では町政懇談会という形で、前段に町長から財政状況などの説明がありました。今は町と自治会の共催という形になっているのでやり方が変わっていますが、膝を交えればいろんな話ができるし、実施しない地域があるのは残念に思います。

紙で事前に要望を取りまとめるという形になって懇談会に人が集まらなくなってきた感じがします。紙だと一字一句間違いなく役場には伝わり、回答してもらうことはできますが、懇談会の場で発言することで多くの人の耳に入り納得してもらうことができると思います。

自治会連合会の活動は活発になってきている気がします。いろんな地域のよい所が見えてきているし、自治会長だけではなく役員なども含め、参加するのが当然という雰囲気づくりが重要だと思います。

パブリックコメントなど横文字が多く、抵抗があります。日本語なら漢字である程度は言葉の理解ができるので、なるべく日本語にするよう検討してほしいです。

議会だよりに学校の運動会や保育所の学芸会の写真が使われていることが多くあります。町広報とは一線を引き、議会広報では議会議論のあった施設や新設した道路の写真を載せるべきだと思います。

議会だよりの説明が足りない感じがします。例えば、湧別町農協の自己資本比率が低下し、最終的に町が責任を負うという記事があったと思いますが、よくわかりませんでした。他にも難しい議論が多くあると思いますので、注釈などを付けてわかりやすくしてほしいです。

自治会連合会組織の設立支援という事項がありますが、設立という文言はもう削除してもよいのではないのでしょうか。

町営バスの運行についてですが、誰も乗車していないことがよくあります。小型化を急いで進めるべきだと思います。

バスは走る経路が決まっていますが、乗れる場所まで歩いていくのが大変という声を聞きます。中通りまで入ってもらえると助かります。

バスは決められた路線しか走れないこともあり、徒歩の部分は地域が考える必要があると思います。行政が全てやるということではなく、地域が担う仕組みを検討すべきだと思います。

地域が担う責務を明示すべきだと思います。例えば、公民館の清掃を月1回お願いするといった、公共施設の管理を地域が担うということも可能だと思います。少子高齢化が進む本町の将来を考える上で、必要なことだと思います。

指定管理者制度は経費節減の一時的なステップとしてはよいと思いますが、民業圧迫をするようなものは望ましくないと思います。

元気な高齢者が多いので、活用できる仕組みを検討したらよいと思います。

## 2. 行政改革推進委員会の付帯意見に対する町の考え方について

資料に基づき、大口係長説明

保育所、小規模校の統合の検討が進んでいないと思います。町長は議会答弁において、開盛保育所の修繕について危険性を伴うものであれば直さなければならないという表現をしていたと思いますが、修理はせずに使える間は使い、使えなくなった時点で統合を進めるという話をこれまでは聞いていました。年間2,000万円以上の経費がかかっていると思いますが、統合してマイクロバスを購入すれば経費はかなり圧縮できると思います。住民の意見を尊重することよりも町から積極的にアプローチしていかなければ進んでいかない問題と思います。

具体的な数字を示す必要があるのではないのでしょうか。現状のままではどの程度、改築等するにはどの程度、統合すればどの程度といった数字があると理解しやすいと思います。

保育所行事や学校行事に顔を出す機会がありましたが、子供たちが将来に向かって羽ばたいていくにはちょっと寂しい状況と感じました。多くの子供たちが競い合い、一つのを成し遂げられる環境を羨む父兄もいるようです。将来、進学や就職で巣立っていく時に、そうした経験が役立つものと思います。子供たちは町の財産と言いながら、それを曲げているのは大人なのかもしれません。統合により地域が寂れるという危惧があるのはわかりますが、長い目で見て子

供たちのためにはならないと思います。

私の地域では、統合をしても新年会や秋祭りでの子ども相撲など地域の行事は残っています。寂れないよう自治会がカバーすることも可能と思います。保育所統合時にバス乗車への不安も多かったですが、今では全て解決できています。

教育論においては、小学校は少人数でもよいという考えはあります。その論理で議論するのであればわかりますが、地域が衰退するから存続すべきというのは本末転倒と考えます。教育論ではなく感情論で反対している感じがします。子どもたちの幸せを第一に考えてほしいです。

経費を見せ、統合した分の経費を福祉施策に活用するといった説明をすれば地域には理解してもらえらると思います。

湧別と上湧別で類似のイベントがあります。宗教的・歴史的に統合できないものもあると思いますが、まずは話し合うことから始めたらよいと話をしていましたが、なかなか進んでいないと思います。

統合して人を集めるイベントを盛大にやるという考えはよいと思います。人を多く集めることで、地域は潤うことになると思います。

役場職員の横の連携をきちんととってほしいと思います。例えば、計呂地交通公園の客車の塗装ですが、元々の色と違う色になっているようです。最近はかなりマニアックな観光客が多く訪れ、そういった話を耳にします。歴史的背景を含めアピールすることで観光的価値は大きくなるものと考えます。観光担当だけで進めるのではなく、教育委員会の学芸員などと連携を図り、進めてほしいと思います。

地域会館の有効利用について、芭露の会館や宮の森センターなどの洗い場（流し）の奥行きが狭く不便という声を聞きます。建設前に女性の意見も聞き、建設してほしいと思います。

庁舎と総合支所の関係について、経費を示して本当に必要性があるのかという検討をしたほうがよいと思います。

行き来が大変で、不合理だと思います。縮小すれば公用車の台数も減らせるし、合併効果を徐々に出していく必要があると思います。

芭露に福祉施設を建設していますが、今後福祉施策に係る経費は膨らんでいくことと思います。全体の予算を膨らませないようにするには、圧縮する部分も必要になると思います。

合併はスリム化を目指して行いましたが、民間企業とは違うのでスリム化の流れは緩やかな形でもよいと思います。

イベントを開催するにも高齢化で準備が大変ということを聞きます。このままではいけないと思っている人は多いと思います。

年齢が高齢でも考え方が若い人はたくさんいます。そうした人をどのように活用するか皆で考えなければならないと思います。声をかけてもらうことを待っている高齢者も多いと思います。

### 3．第2回行政改革推進委員会の開催について

8月8日(木)13:30から開催することとなった。

学校、保育所、イベントの関係について、担当者を交え協議を行うこととした。

午後4時15分 閉会

以 上